

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（第一学習社 標準現代の国語）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や、筆者の意見及び登場人物の心情に共感する力、想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	なぜ本を読むのか	筆者の考える読書の効用について、論理構成をもとに考え、自分の身近な例に当てはめて考えを深める。		○	○	新出漢字の読み書きを学習し、自らの語彙を増やしている。語句の意味、使い方などを理解している。 より効果的な根拠の示し方や説明のやり方を考え、自分の考えを的確に表現することができる。 本文の構成と論理の展開をとらえ、要約し、筆者の意見を読み取ろうとしている。	○	○		5
	水の東西	東西の二項対立を考えながら、日本と西洋の文化を比較する叙述の方法を理解する。		○	○	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○		○	4
	中間考査						○	○		1
	羅生門	老婆と関わることで変化していく下人の心情を掴み、利己主義的な考え方について考えを深める。		○	○	話の内容を要約し、当初の下人の心情と、結末での下人の心情の違いを説明することができる。利己主義的な考え方に触れ、下人のその後を想像して自分の言葉で説明しようとしている。	○		○	6
	期末考査						○	○		1
2 学 期	黄色い花束	筆者が体験したコソボでの出来事と、筆者の過去の関係について考え、筆者の思いを読み取る。		○	○	コソボの話題と筆者の子供時代の話題との関係を把握し、子供たちに対する筆者の思いについて考えを深める。 戦争や紛争について考えを深め、自分の考えが的確に伝わるように、根拠や説明を工夫して表現しようとしている。	○		○	6
	「弱いロボット」の誕生	「弱いロボット」の開発意図を読み取り、社会における対人関係について考える。			○	「弱いロボット」の開発意図を読み取り、社会における対人関係について考えを深める。 筆者が開発した「弱いロボット」について述べた文章を読み、自分の意見や考えを、表現を工夫して書こうとしている。	○	○		6
	中間考査					○	○		1	
	言語としてのピクトグラム	ピクトグラムが持つ言語としての機能を理解し、表現の多様性について考える。		○	○	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとしている。	○		○	6
	イースター島になぜ森がないのか	イースター島の歴史について理解を深め、人間の在り方を自分の言葉で考える。		○	○	イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。持続可能性について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 例示などの修辞を理解する。	○		○	6
期末考査						○	○		1	
	世界は謎に満ちている	文章の構成から、筆者の意見を説明するための工夫を読み取る。		○	○	筆者の意見を説明するための工夫を、文章の構成や取り上げられた事例から把握する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 好奇心の重要性について述べた文章を読み、	○		○	6

					自分の意見や考えを論述する。				
学年末考査						○	○		1
									合計
									50

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（歴史総合(実教出版)）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 歴史的な事象に対する基礎的・基本的な知識・技能を身に着ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な事象について、要因や結果、他の事象との関連性などを考え、その考えを表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 歴史的な事象について興味・関心、疑問を抱き、自らの考えを深めようとしている。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代における日本と世界における諸事象について理解している。	近現代における日本と世界における諸事象について、相互に結び付けたり、比較したりして多面的・多角的に考察し表現している。	近現代における日本と世界における諸事象についての深い理解を通して、我が国だけでなく、諸外国と諸外国の文化を尊重することの大切さを自覚している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元〔1. 近代化への胎動〕 17以降の日本やアジア諸国の政治経済と歴史的な変化について理解する。	・指導事項 幕藩体制と東アジアの交易 田沼政治と寛政の改革 諸外国の接近と東アジア諸国 ・教材 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 17以降の日本やアジア諸国の政治経済を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 17以降の日本やアジア諸国の政治経済について、それぞれの国・地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりして多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 17以降の日本やアジア諸国の政治経済と歴史的な変化についての深い理解を通して、我が国のみならず他国を尊重することの大切さを自覚している。	○	○	○	5
	単元〔2. 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」〕 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について理解する。	・指導事項 産業革命とアメリカ独立戦争 フランス革命とウィーン体制 南北戦争とラテンアメリカ諸国 オスマン帝国とロシアの改革 アヘン戦争と日本の開国 江戸幕府の滅亡 ・教材 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の経済と社会について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国のできごとや影響などに着目して、相互に関連付けたりなどして、18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及・解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
	単元〔3. 欧米諸国と日本の国民国家形成〕 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について理解する。	・指導事項 英仏の繁栄と伊独の統一 明治政府の改革 日本のアジア外交と国境問題 自由民権運動と大日本帝国憲法 ・教材 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。	○	○	○	4

2 学 期	<p>単元〔4. 帝国主義の時代〕</p> <p>帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 帝国主義の時代へ朝鮮を巡る国際関係と日清戦争日清戦争後の東アジア日露戦争と東アジア日本の産業革命 ・教材 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	<p>単元〔5. 第一次世界大戦と大衆社会〕</p> <p>20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 第一次世界大戦ロシア革命とソ連の成立米騒動とデモクラシーヴェルサイユ・ワシントン体制アジアの民族運動第一次世界大戦後の欧米諸国社会運動と普通選挙の実現 ・教材 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴェト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	7
	<p>単元〔6. 経済危機と第二次世界大戦①〕</p> <p>世界恐慌から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 世界恐慌と各国の対応ファシズムの時代満洲事変と軍部台頭日中戦争と戦時体制第二次世界大戦の勃発第二次世界大戦の終結国際連合の成立と冷戦日本占領と日本国憲法朝鮮戦争と日本 ・教材 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>第二次世界大戦の展開と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>世界恐慌から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を追求、解決しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>単元〔7. 冷戦と脱植民地化〕</p> <p>1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 植民地の独立 米ソ両陣営の動揺 日本の国際社会復帰 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	3
	<p>単元〔8. 多極化する世界〕</p> <p>1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 石油危機と世界経済 緊張緩和から冷戦終結 日本の経済大国化 ・教材 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	3
	<p>単元〔9. グローバル化と現代世界〕</p> <p>21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 地域紛争と対立 国際秩序の変容 ・教材 教科書、地図帳、ノート ・一人1台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
						合計	
						48	

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学I

教科： 数学 科目： 数学I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校 数学I（数研出版） ）

教科 数学 の目標： 知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。

【知識及び技能】知識の習得と技術の習熟を図り、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を多面的にみたり、論理的に考察し、それらを表現する力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学を活用しようとする姿勢を養う。

科目 数学I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現して考察する力、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、分析を行う力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 数と式 第1節 式と計算 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。	1. 多項式の加法と減法 2. 多項式の乗法 3. 因数分解	【知識・技能】 単項式や多項式など式に関する用語を理解している。展開公式、因数分解の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 複雑な式についても、工夫をすることにより、展開、因数分解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の整理や変形に関心を持ち、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	7
第1章 数と式 第2節 実習 中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	4. 実数 5. 根号を含む式の計算	【知識・技能】 有理数、整数、有限小数、循環小数等の用語を理解している。平方根、根号の意味・性質を理解し、計算することができる。 【思考・判断・表現】 四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。	○	○	○	5
第1章 数と式 第3節 1次不等式 不等式不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。	6. 不等式の性質 7. 1次不等式 8. 絶対値を含む方程式・不等式	【知識・技能】 不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。不等式の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式の性質について、等式における性質と比較して、考察しようとする。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1
第2章 集合と命題 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題と証明	【知識・技能】 空集合、共通部分、和集合、補集合について理解している。必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義を理解している。命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解しており、それらの真偽を調べることができる。 【思考・判断・表現】 条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができる。命題が偽であることを示すには、反例を1つあげればよいことが理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	○	○	○	8
第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。	1. 関数とグラフ 2. 2次関数とグラフ	【知識・技能】 $y=f(x)$ や $f(a)$ の表記を理解しており、用いることができる。平方完成を利用して、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活に見られる関数の具体例を見つけて考察しようとする。日常生活に見られる関数	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1
第3章 2次関数 第2節 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることが	3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定	【知識・技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。2次関数を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形して、最大値、最小値を求めること				

2 学 期	できるよにする		かである。 【思考・判断・表現】 2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。	○	○	○	8
	第3章 2次関数 第3節 2次方程式と2次不等式 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	5. 2次方程式 6. 2次関数のグラフと x 軸の位置関係	【知識・技能】 2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第3章 2次関数 第3節 2次方程式と2次不等式 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	7. 2次不等式	【知識・技能】 2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な問題を2次不等式で解決しようとする。	○	○	○	8
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。	1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張	【知識・技能】 三角比の定義から、辺の長さを求める関係式を考察することができる。直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用 図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力などを培う。	4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の応用 7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用	【知識・技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求められる。3辺が与えられた三角形の面積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角比と三角形の面積の関係を考察することができる。空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。	○	○	○	14
	第5章 データの分析 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う。	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位数 4. 分散と標準偏差 5. 2つの変量間の関係 6. 仮説検定の考え方	【知識・技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解している。平均値や中央値、最頻値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。ヒストグラムと箱ひげ図の関係について理解している。 【思考・判断・表現】 データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切でないことを理解している。複数のデータを、散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析し、問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
						合計	105

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書： 高等学校 数学A（数研出版）

教科 数学 の目標： 知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。

【知識及び技能】 知識の習得と技術の習熟を図り、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を多面的にみたり、論理的に考察し、それらを表現する力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、数学を活用しようとする姿勢を養う。

科目 数学Aの目標： 図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	1. 集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ	【知識・技能】 ○集合の要素の個数とベン図の関係を理解している。 ○集合の要素の個数を求めることができる。 ○起こり得る場合の数を漏れなく重複なく数えることができる。 ○和の法則、積の法則を用いる場面を理解している。 ○順列・組合せの考えを理解し、場合の数を求めるための基礎的な力を身に付けている。 ○順列・組合せの考えを用いて場合の数を求めることができる。 ○円順列や重複順列、同じものを含む順列の公式を用いて場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○集合の要素の個数とベン図を関連づけて考察することができる。 ○樹形図や和の法則、積の法則を用いて場合の数を考察することができる。 ○順列と組合せの違いを理解し、場合の数を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○いろいろな集合の要素の個数を求めることに興味をもつ。 ○起こり得る場合の数を漏れなく重複なく数えることに興味をもち、調べようとする。 ○順列・組合せの考え方に興味をもち、これを用いて場合の数を求めようとする。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1
1学期 第1章 場合の数と確率 第2節 確率 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値	【知識・技能】 ○場合の数を求め、これを用いて確率を計算する方法を理解し、具体的な事象の確率を求めるための基礎的な知識を身に付けている。 ○期待値の意味を理解し、具体的な事象の確率と期待値を求めることができる。 ○独立な試行と反復試行について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ○2つの独立な試行における2つの事象が同時に起こる確率を求めることができる。 ○反復試行の確率を求めることができる。 ○条件付き確率の考え方を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ○条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○場合の数の考え方をを用いて、確率を適切に表現することができる。 ○独立な試行、反復試行の確率の考え方をを用いて、それらの確率を表現することができる。 ○条件付き確率を、図や記号を用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○根元事象の個数の割合を考えることによって確率を求めようとする。 ○確率の基本的な性質に関心をもち、これらを利用して確率を求めようとする。 ○身近な試行として、独立な試行、反復試行があることに気づき、これらの試行における事象の確率を調べようとする。 ○確率を求める場面が容易に理解できる簡単な場合について条件付き確率を求めようとする。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>第2章 図形の性質 第1節 平面図形</p> <p>平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>1. 三角形の辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 6. 2つの円 7. 作図</p>	<p>【知識・技能】 ○三角形の角の二等分線と線分の比の関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ○三角形の角の二等分線と線分の比の間に成り立つ関係を用いて、線分の長さを求めることができる。 ○三角形の重心や外心などについて幾何学的な意味を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ○三角形の重心や外心、内心などから、角の大きさを求めることができる。 ○チェバの定理・メネラウスの定理を用いて、問題を解くことができる。 ○円における様々な性質を理解し、角の大きさや線分の長さの求め方を理解している。 ○円の様々な性質を用いて、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の角の二等分線の性質を用いて、いろいろな線分の長さを考察することができる。 ○三角形の重心、外心、内心などの幾何学的な意味を用いて、角の大きさなどを考察することができる。 ○チェバの定理・メネラウスの定理を用いて線分の比などを考察することができる。 ○円周角の定理とその逆について考察することができる。 ○円に関する定理を適切に用いて、角の大きさや線分の長さを考察することができる。 ○2つの円の位置関係と中心間の距離、円の半径の関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角形の重心や外心、内心などに関心を持ち、それらについて調べようとする。 ○三角形と直線におけるチェバの定理・メネラウスの定理を理解しようとする。 ○三角形の辺と角についていろいろな関係があることに関心を持ち、調べようとする。 ○円周角のもつ意味とそのはたらきを理解し調べようとする。 ○円に内接する四角形、接線と弦のなす角、方べきの定理について関心を持ち、利用しようとする。</p>	○	○	○	13	
	定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	<p>第2章 図形の性質 第2節 空間図形</p> <p>空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体</p>	<p>【知識・技能】 ○2直線や2平面の位置関係、直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ○2直線や2平面の位置関係、直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を数学記号を用いて表現することができる。 ○正多面体の性質をもとに、体積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○空間における直線や平面の関係を用いて、空間図形のいろいろな量を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○2直線や2平面の位置関係、直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質に関心を持ち、調べようとする。 ○オイラーの多面体定理によって、凸多面体の頂点の数、辺の数、面の数に関係があることに関心をもつ。</p>	○	○	○	13	
	定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	<p>第3章 数学と人間の活動</p> <p>さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考察できるような力を培う。</p>	<p>1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数・最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 7. 記数法 8. 座標の考え方 9. ゲーム・パズルの中の数学</p>	<p>【知識・技能】 ○記数法やn進法での数の表し方についての知識を身に付けている。 ○座標による位置の表し方や、図形の性質を用いた測量を理解している。 【思考・判断・表現】 ○位取り記数法やn進法の表し方を理解し、それぞれの特徴を考察することができる。 ○ユークリッドの互除法を身に付け、公約数を求める仕組みを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○数の数え方や表し方に関心を持つ。 ○測量や地図上の位置の表し方に数学的な概念が用いられていることに関心を持つ。</p>	○	○	○	17	
	定期考査			○	○	○	1	
							合計	70

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物の関わる自然現象について日常生活との関連を図りながら観察・実験・映像の視聴などを通して、生物や生物の関わる自然現象の基本的な概念を原理・法則を理解するとともに、科学的に探究する知識や技能が身についている。	生物や生物の関わる自然現象を対象に、探求過程を通して問題を見出すための観察、情報の収集、仮説の設定実験の計画、実験による検証、考察などの探求の方法が習得できている。またそれを発表する事により科学的に探究する態度を培っている。	生物や生物の関わる自然現象に対して主体的に関わり、それらに対する疑問や気づきから課題を設定し解決しようとする積極的な態度が養われている。また、生命を尊重し自然環境保全に寄与する態度が養われている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
序章 探究活動の進め方 第1章 生物の特徴 1 生物の多様性 2 生物の共通性 3 生物の進化と系統 ・現存する多様な生物には共通性があり、その共通性は共通の起源をもつこと由来することがわかる。	・探究活動の手法について。 ・すべての生物は共通の祖先をもつこと、生物は多様性を持ちながらも共通性を持っていることを認識する。 ・教科書 BIOLOGY i版 生物基礎 (啓林館) ・副教材 ニューステージ 新生物図表、新コンセプトノート 生物基礎 (浜)	【知識・技能】 生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がある。【探究2】 【思考・判断・表現】 生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通祖先に由来すると考えることができる。【探究1】 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知らうとする意欲を持っている。	○	○	○	5
4 細胞と個体の成り立ち ・単細胞生物と多細胞生物の機能における共通性と多細胞生物の体の成り立ちがわかる。	・生物の特徴(原核細胞の構造・真核細胞の構造) ・単細胞生物から多細胞生物へ進化してきたこと理解する。 ・真核細胞の細胞小器官についてその働きを理解する。	【知識・技能】 細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がある。 【思考・判断・表現】 細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 細胞小器官の特徴と働きに注目する。生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。	○	○	○	5
1 学期 定期考査			○	○		1
5 生命活動とエネルギー ATPによるエネルギーの受け渡しについて理解する。 6 生体内の化学反応と酵素 7 光合成、呼吸 生命活動におけるエネルギーの働き受け渡しについて、具体的にATP、酵素、光合成と呼吸について学習することでその内容を理解する。	・生命活動でエネルギー物質はATPであることを理解する。 ・酵素が生体内の化学反応の触媒作用をしていることを理解する。 ・光合成では光エネルギーを用いて有機物が作られ、呼吸では有機物からエネルギーが取り出されることを理解する。 ・共生説について理解する。	【知識・技能】 酵素反応の特徴を理解できる。光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 【思考・判断・表現】 酵素の働きについて考えることができる。代謝におけるエネルギーについて考えることができる。【探究3】 【探究4】 細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。	○	○	○	5
第2章 遺伝子とその働き 1 生物と遺伝情報 2 DNAの構造と遺伝情報 3 DNAの複製 4 細胞周期とDNAの分配 遺伝情報の担い手であるDNAの構造、働き、その複製方法について理解する。	・DNAが全ての生物が共通してもつ遺伝子の本体であることを理解する。 ・DNAは4種類の塩基の配列でできており、二重らせん構造であることを知る。 ・体細胞分裂の過程を知り、間期にDNAの複製が起こることや分裂前後で遺伝情報に変化しないことを理解する。 ・体細胞分裂の際の染色体の動きやDNA量の変化を知る。	【知識・技能】 DNAの抽出について理解する。【探究5】DNAの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性が理解できる。 【思考・判断・表現】 DNAの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
2 学期 遺伝子とその働き 5 遺伝子発現とタンパク質 6 転写と翻訳 7 遺伝暗号表 8 遺伝子発現と維持 DNAの塩基配列がどのように発現していくか(タンパク質合成されていくか)を理解する。	・DNAの塩基配列からmRNAに転写され、転写されたmRNAの塩基配列をもとにタンパク質が合成される過程(セントラルドグマ)について理解する。 mRNAの塩基配列をもとに遺伝子暗号表を用いて合成されるアミノ酸を認識できるようにする	【知識・技能】 塩基配列と遺伝情報の関係と、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事理解する。 【思考・判断・表現】 DNAの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 タンパク質について感心をもつ。RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。	○	○	○	10
第3章 ヒトの体の調節 1 恒常性と体液・血液凝固 2 恒常性に関わる神経系(自律神経) 3 ホルモンによる調節(血糖濃度調整の仕組み) 体内の恒常性を保つために自律神経系やホルモンがどのように働いているか理解する。また、自律神経やホルモンバランスの崩れに伴う病気について理解する。	・体内環境が一定に保たれていることを理解する。 ・体液により体内環境が作られていることを理解する。 ・血液の成分における各血球と血しょうの働きが説明できる。 ・心臓の構造を理解し、動脈と静脈の違いを挙げることができる。 ・肝臓や腎臓の主たる働きを知り、体内環境の維持に重要であることを理解する。	【知識・技能】 体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液(血液・リンパ液・組織液)の成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働き(酸素解離や血液凝固など)を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液の働き、循環に興味を持つ。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1
3 学期 第4章 免疫 1 体内防衛機構である免疫を正しく理解する。 2 自然免疫の仕組み、獲得免疫の仕組みを理解する。 3 抗体とその利用、免疫記憶とその利用 免疫と病気について理解する。	・生体防衛としての免疫の仕組みを理解し、自然免疫と適応免疫の違いをあげることができる。 ・体液性免疫、細胞性免疫について理解し、その仕組みを利用してワクチンや血清療法が行われていることを理解する。 ・免疫に関係する病気や疾患がある事理解する。	【知識・技能】 微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。 【探究14】 【思考・判断・表現】 マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。【探究13】自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べよう	○	○	○	12
5章 植生と遷移 遷移に伴う環境の変化・陸上の植生が変わっている要因を理解する。 陸上には気候に応じて様々な動物が生息していることを理解する。 6章 生態系とその保全 生態系における。無生物的環境と生物的環境の相互作用を理解する。	・植生が長い年月をかけて変化していくこと(遷移)を理解する。 生物多様性を保全することの重要性がわかる。	【知識・技能】 遷移のそれぞれの時期の要因を理解する。CODや下水道普及率のデータから、アオコの原因を推測できる。【探究20】 【思考・判断・表現】生態系のバランスについて考えることができる。 外来生物の影響について考えることができる。 【探究21】 環境問題などについて関心をもっている。				6
						合計
						70

高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 理科 科目 化学基礎

教科: 理科 科目: 化学基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組~ 5組

教科担当者:

使用教科書: (第一学習社 高等学校 新化学基礎)

教科 理科 の目標: 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 化学基礎 の目標: 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 物質の構成 1 物質とその構成要素 ○単体・化合物・混合物 物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解するとともに、実験における基本操作と物質を探究する方法を身に付けること。 ○熱運動と物質の三態 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解すること。 ○原子の構造 原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解すること。 ○電子配置と周期表 元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解すること。	第1章 物質の構成 1 物質とその構成要素 ①物質の分離(1) ②物質の分離(2) ③物質を構成する元素 ④元素の確認 ⑤物質の三態 ⑥原子のなりたち ⑦同位体とその利用 ⑧原子の電子配置 ⑨元素の周期律と周期表	【知識・技能】 ・物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解している。 ・混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付けている。 ・粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解している。 ・原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・原子の電子配置を理解し、原子番号20番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表すことができる。 ・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明できる。 ・粒子の熱運動と温度の関係や、粒子の熱運動と粒子間に働く力の間接的な関係をもとに、温度と物質の状態変化の関係を的確に表現することができる。 ・原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し、周期性が現れる理由を的確に表現することができる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心をもち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 ・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1
1学期 2 化学結合 ○イオンとイオン結合 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解すること。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解すること。 ○金属と金属結合 金属結合及び金属の性質を理解すること。 ○分子と共有結合 共有結合を電子配置と関連付けて理解すること。また、分子からなる物質の性質を理解すること。	2 化学結合 ①イオン(1) ②イオン(2) ③イオン結合 ④イオンからなる物質 ⑤共有結合(1) ⑥共有結合(2) ⑦分子の極性 ⑧分子間に働く力 ⑨分子からなる物質 ⑩共有結合の結晶 ⑪金属結合と金属結晶	【知識・技能】 ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。 ・イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解し、共有結合の表し方や配位結合についての知識を身に付けている。 ・電気陰性度や結合の極性を理解し、分子の極性についての知識を身に付けている。 ・共有結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・金属結合や金属結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・イオン結晶の性質をイオンやイオン結合にもとづいて説明できる。 ・分子の極性を電気陰性度や結合の極性、分				

		子の形をもとに総合的に判断できる。 ・観察・実験を通して、分子の極性と分子からなる物質の性質の関係を考察し、表現できる。 ・金属結晶の性質を金属結合にもとづいて的確に表現できる。 ・物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察できる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質に関心をもち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 ・物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	13	
	定期考査		○	○	○	1	
2 学 期	第2章 物質の変化 3 物質量と化学反応式 ○物質量 物質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。 ○化学反応式 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解すること。	第2章 物質の変化 3 物質量と化学反応式 ①原子量 ②分子量・式量 ③物質量と粒子の数 ④物質量と質量 ⑤物質量と気体の体積 ⑥溶解と濃度 ⑦化学反応式(1) ⑧化学反応式(2) ⑨化学反応の量的関係	【知識・技能】 ・物質の構成粒子の質量の表し方として、原子量・分子量・式量を理解している。 ・物質量が粒子の数にもとづく量であることを理解し、物質量と質量、気体の体積との関係も理解している。 ・物質量を介して、物質の質量や気体の体積を相互に変換できる。 ・水溶液の濃度をモル濃度を用いて表したり、濃度のわかっている水溶液中の溶質の物質量を計算によって求めることができる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、化学反応を化学反応式を用いて表すことができる。 ・物質量の概念で化学変化の量的関係を把握する方法を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・化学変化では、一定の量的関係が成り立つことを理解し、化学反応式をもとに物質の量的関係を判断できる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 ・実験で得られたデータをグラフ化するなどの処理を行い、結果を化学的に考察することができる。 ・化学反応の量的関係の実験から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	13
	定期考査		○	○	○	1	
	4 酸・塩基とその反応 ○酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解すること。	4 酸・塩基とその反応 ①酸と塩基 ②酸・塩基の強弱 ③水素イオン濃度とpH ④pHの測定 ⑤中和と塩 ⑥中和の量的関係 ⑦中和滴定 ⑧中和滴定曲線	【知識・技能】 ・酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類することができる。 ・水溶液の性質(酸性・中性・塩基性)と水素イオン濃度やpHとの関係を理解し、知識を身に付けている。 ・中和反応について理解し、塩のなりたちや塩の水溶液の性質を理解している。 ・中和反応に関与する物質の量的関係を理解し、中和反応における酸と塩基の量的関係を計算によって求めることができる。 ・中和滴定の操作や中和滴定曲線を理解し、実験器具の適切な取り扱いやグラフの見方などの知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基の観察、実験から共通性を見だし、酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて考察できる。 ・学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結果にもとづいて総合的に考察できる。 ・中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸、塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究しようとする。 ・酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連	○	○	○	13

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 「体づくり運動」 【知識及び技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	・体づくり運動 ・集団行動	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに貢献しようとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
単元 「陸上競技」 【知識及び技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。	・短距離走 ・投てき ・中・長距離走	【知識・技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。	○	○	○	16
1 学 期 単元 「球技（ハンドボール）」 【知識及び技能】 ハンドボールについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ハンドボールに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。	・キャッチボール ・シュート練習 ・試合	【知識・技能】 ハンドボールについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ハンドボールに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保している。	○	○	○	10
単元 「水泳」 【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐ。	・クロール ・平泳ぎ	【知識・技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。				

<p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事、水泳の事故防止に関する心得を尊重するなど健康・安全を確保する。</p>		<p>理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事、水泳の事故防止に関する心得を尊重するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	8
<p>単元 「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事、水泳の事故防止に関する心得を尊重するなど健康・安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ 	<p>【知識・技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事、水泳の事故防止に関する心得を尊重するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「器械運動（マット運動）」</p> <p>【知識及び技能】 器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを、理解するとともに、自己に適した技で演技する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に自主的に取り組むとともに、良い演技を讃えようとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事、ルールやマナーを大切にしようとする事や健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 ・演技発表会 	<p>【知識・技能】 器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを、理解するとともに、自己に適した技で演技している。</p> <p>【思考・判断・表現】 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 器械運動に自主的に取り組むとともに、良い演技を讃えようとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事、ルールやマナーを大切にしようとする事や健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「球技（サッカー）」</p> <p>【知識及び技能】 サッカーについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 サッカーに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事や健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリブル練習 ・シュート練習 ・試合 	<p>【知識・技能】 サッカーについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 サッカーに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事や健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「球技（バレーボール）」</p> <p>【知識及び技能】 バレーボールについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パス練習 ・サーブ練習 ・パス練習 	<p>【知識・技能】 バレーボールについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p>				

2学期

	<p>眠ぐ仲間と連携し、ゲームを展開させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようということや健康や安全を確保する。</p>		<p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主體的に学習に取り組む態度】 バレーボールに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようということや健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	6	
	<p>単元 「球技（バドミントン）」</p> <p>【知識及び技能】 バドミントンについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようということや健康や安全を確保する。</p>	<p>・ストローク練習 ・試合</p>	<p>【知識・技能】 バドミントンについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主體的に学習に取り組む態度】 バドミントンに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようということや健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	8	
	<p>単元 「陸上競技（長距離走）」</p> <p>陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようということや健康や安全を確保する。</p>	<p>・長距離走</p>	<p>【知識・技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主體的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようということや健康や安全を確保する。</p>	○	○	○	8	
3 学期	<p>単元 「陸上競技（長距離走）」</p> <p>陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようということや健康や安全を確保する。</p>	<p>・長距離走</p>	<p>【知識・技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主體的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようということや健康や安全を確保する。</p>	○	○	○	8	
	<p>単元 「体育理論」</p> <p>【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者を伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>・運動・スポーツの文化的特徴</p>	<p>単元 「体育理論」</p> <p>【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者を伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3	
							合計	105

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当時数
単元「体づくり運動」 【知識及び技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	・体づくり運動 ・集団行動	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに貢献しようとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
単元「陸上競技」 【知識及び技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。	・短距離走 ・投てき ・中・長距離走	【知識・技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。	○	○	○	16
単元「器械運動（マット運動）」 【知識及び技能】 器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを、理解するとともに、自己に適した技で演技する。 【思考力、判断力、表現力等】 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に自主的に取り組むとともに、良い演技を讃えようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、ルールやマナーを大切にしようとする、健康や安全を確保する。	・マット運動 ・演技発表会	【知識・技能】 器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを、理解するとともに、自己に適した技で演技している。 【思考・判断・表現】 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 器械運動に自主的に取り組むとともに、良い演技を讃えようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、ルールやマナーを大切にしようとする、健康や安全を確保している。	○	○	○	10
単元「水泳」 【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。	・クロール ・平泳ぎ	【知識・技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。				

<p>運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する。</p>		<p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ 	<p>【知識・技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「球技（バレーボール）」</p> <p>【知識及び技能】 バレーボールについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事や健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パス練習 ・サーブ練習 ・パス練習 	<p>【知識・技能】 バレーボールについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 バレーボールに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事や健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「球技（バスケットボール）」</p> <p>【知識及び技能】 バスケットボールについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事や健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パス練習 ・シュート練習 ・試合 	<p>【知識・技能】 バスケットボールについて、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 バスケットボールに自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする事や健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「柔道」</p> <p>【知識及び技能】 柔道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や見取り稽古の仕方、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本動作 ・受け身 	<p>【知識・技能】 柔道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や見取り稽古の仕方、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p>				

2
学
期

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しみとともに健康に親しみとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通して自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
1単元「現代社会と健康」 01健康の考え方と成り立ち 02私たちの健康のすがた 03生活習慣病の予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	3
04がんの原因と予防 05がんの治療と回復 06運動と健康 07食事と健康 08休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。 ・健康と運動の関係について説明できる。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。 ・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康的な食事のとり方について説明できる。 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 ・健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について説明できる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
09喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができるとともに、 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	3
定期考査			○	○		1

高等学校 令和4年度(1学年用)教科

芸術 科目 音楽 I

教科: 芸術

科目: 音楽 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 5 組

教科担当者:

使用教科書: (高校生の音楽 1)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようになる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
○歌唱 ・基本的な姿勢・呼吸法・発声法を身に付け、楽曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う	・基本的な歌唱の姿勢、呼吸、発声法 ・校歌 ・日本歌曲	○				【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現に必要な、基本的な姿勢・呼吸法・発声法が身につけているか 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を感覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な発声法を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	7
○ボディーパーカッション ・リズムの特徴を感じとり、強弱や音色・テクスチャを意識して創意工夫してリズムアンサンブルを楽しむ	・ボディーパーカッションによる表現効果 ・楽曲の共通イメージをもち、表現を創意工夫してリズムアンサンブルする		○			【知識及び技能】 リズムを正確に読んだり記したりするなど、表現に生かすために必要な技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 身体をどのように用いると効果的な音色が得られるのかを想像し、よりよいアンサンブルにしようとする表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 身体を効果的に用いて音色を工夫しながら、イメージをもって主体的にアンサンブルに取り組もうとしている	○	○	○	7
○楽典・ソルフェージュ ・楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方について理解し、演奏に生かす	・楽譜の構造 ・音名、音部記号 ・変化記号、調号や臨時記号 ・音価 ・反復記号 ・楽譜の書き方 ・リズム・聴音 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 創意工夫を生かした音楽表現するために必要な知識・技能を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現する上で必要な知識・技能に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている	○		○	4
○鑑賞 ・声や様々な楽器によって生み出される響きを聴くとともに、文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する	・声や様々な楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり ・音楽を形づくっている要素の知覚と、それらの働きの感受 ・楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の効果				○	【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素やその表現上の効果、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じとり、楽曲のよさや美しさを創造的に味わって聴いている 【学びに向かう力、人間性等】 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	6
○歌唱 ・発音の特徴や、リズムや旋律との関わりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌う	・日本歌曲 ・イタリア歌曲 ・ドイツリート 等					【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】				

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科： 芸術 科目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京書籍 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情襟を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・書の特徴の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解しているか。 ・書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現する為の基礎的な技能を身に付け、表しているか。	・書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることが出来るようにする。	・主体的に書の特徴及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしているか。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価標準	知	思	態	配当 時数	
		漢	仮	漢							
1 学期	楷書の特徴表現を比べよう 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「自書告身」 コラム：唐の四大家 「牛橛造像記」	・楷書の古典を臨書する意義について理解する。 「人物と時代」なども活用する。 ・楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 ・楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。			○	○					18
	行書の特徴 コラム：王羲之 「蘭亭序」 「争坐位文稿」 「風信帖」 コラム：三筆から三跡へ	・行書の古典を臨書する意義について理解する。 「人物と時代」なども活用する。 ・行書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。			○	○					10
	草書の特徴 「真草千字文」	・草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。 ・「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。			○	○					8
	隸書の特徴 「曹全碑」	・隸書が成立する過程や隸書の特徴について理解する。 ・「曹全碑」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「曹全碑」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。			○	○					4
2 学期	仮名の成立 仮名を書く準備 平仮名の単体 変体仮名 連綿	・仮名の用具・用材の特徴について理解する。 ・仮名の基本的な線について理解し、練習する。 ・平仮名の単体の特徴について理解し、練習する。 ・変体仮名及び連綿について理解し、練習する。			○	○					8
	漢字仮名交じりの書の変遷 創作 一言葉と書を調和させよう 鑑賞 一書のみや風趣を味わおう	・古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。 ・文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけられることを理解する。 ・創作の手順に従い創作を行う。	○		○						12
	生活に広げる	・便箋や封筒の宛名、履歴書など、改まった場面で使われる書式について理解し、場面に応じて書く。 ・はがきやカードなど、身近な場面で使われる書式について理解し、書く。	○		○						6

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 単位

対象学年組： 第1学年 1組・5組

教科担当者：

使用教科書：（Power On English CommunicationⅠ（東京書籍））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションに応じて活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて的確に理解し適切に表現できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な話題や社会的話題について、聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り、発表）の5つの領域の活動に取り組み、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて英語で表現したり、適切な英語を使用することができるよう考えることができる。	主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを取ろうとする態度が身につけていく。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態 配当			
				知	思	態	時数
1学期	Lesson 1 Japan's New Tourism Goals of the Lesson Listening 旅行についての会話を聞き取ることができる。 Reading 日本のニューツーリズムについて読み取ることができる。 Speaking (Interaction) 日本での観光について話し合うことができる。 Speaking (Presentation) 旅行者に自分の住んでいる地域の魅力を伝えることができる。 Writing 旅行者に向けたホームページの記事を書くことができる。	【本文の内容理解】 【言語材料】 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形 【言語の働き】 質問する、説明する、発表する	【知識及び技能】 【知識】動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】過去と現在の日本の観光の状況について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、自分の住んでいる地域の魅力について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 過去と現在の日本の観光の状況について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の住んでいる地域の魅力について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	○	○	○	8
	1学期中間考査	・Lessonごとの表現活動の記録（およびワークシート） ・授業用ワークシート ・準拠教材『WORKBOOK』 ・準拠教材『スタディノート』		○	○	○	1
	Lesson 2 Light from Creature Goals of the Lesson Listening 光る生き物についての説明を聞き取ることができる。 Reading 生き物が光る理由や、その光が医療研究に利用されていることについて読み取ることができる。 Speaking (Interaction) 光る生き物について話し合うことができる。 Speaking (Presentation) 光る生き物について、視聴資料を利用して発表することができる。 Writing 光る生き物について、視聴資料の説明原稿を書くことができる。	【題材内容】 生き物が光る理由や、その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表。 【言語材料】 受け身、現在完了形、現在完了進行形 【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、発表する	【知識・技能】 【知識】受け身、現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、受け身、現在完了形、現在完了進行形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、光る生き物について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 光る生き物やその光が医療研究に利用されていることについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、光る生き物について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	8
Lesson 3 Routes to the Top Goals of the Lesson Listening 好きなスポーツ選手についての会話を聞き取ることができる。 Reading スポーツクライマーである野口選手インタビューを読み取ること	【言語材料】 動名詞、不定詞、S+V+O [that節] 【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、助言する、紹介する、発表する	【知識・技能】 【知識】動名詞、不定詞、S+V+O [that節]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】野口選手や好きなスポーツ選手について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的					

<p>ができる。 Speaking (Interaction) 好きなスポーツ選手について話し合うことができる。 Speaking (Presentation) 好きなスポーツ選手について発表することができる。 Writing 好きなスポーツ選手について発表用の原稿を書くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/></p>		<p>的に応じて捉えたり、自分や友達の好きなスポーツ選手について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 野口選手や好きなスポーツ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分や友達の好きなスポーツ選手について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 野口選手や好きなスポーツ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分や友達の好きなスポーツ選手について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>1学期期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> Lessonごとの表現活動の記録(およびワークシート) 授業用ワークシート 準拠教材『WORKBOOK』 準拠教材『スタディノート』 		○	○	○	1
<p>Lesson 4 Life to Right, Right? Goals of the Lesson Listening 日本のマンガの形式についての会話を聞き取ることができる。 Reading 日本のマンガとその翻訳について読み取ることができる。 Speaking (Interaction) 日本のマンガについて話し合うことができる。 Speaking (Presentation) 日本のマンガの形式について発表することができる。 Writing 日本のマンガの形式について発表用の原稿を書くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>【言語材料】 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級 【言語の働き】 質問する、助言する、説明する、賛成する、理由を述べる</p>	<p>【知識・技能】 【知識】後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、日本のマンガやその形式について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本のマンガやその形式について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本や海外のマンガの形式やその翻訳について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本のマンガやその形式について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>Lesson 5 Banana Paper Goals of the Lesson Listening バナナやバナナペーパーについての会話を聞き取ることができる。 Reading バナナペーパープロジェクトによる村の人々の暮らしの変化について読み取ることができる。 Speaking (Interaction) 好きな果物、バナナペーパー製品、バナナペーパープロジェクトについて話し合うことができる。 Speaking (Presentation) バナナペーパーの販売促進のための視覚資料を利用して発表することができる。 Writing バナナペーパーの販売促進に関する発表用の原稿を書くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>【言語材料】 関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、S+seem+to不定詞 【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、誘う</p>	<p>【知識・技能】 【知識】関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、S+seem+to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、S+seem+to不定詞などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 バナナやバナナペーパー、バナナペーパープロジェクトについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>2学期中間考査</p>			○	○	○	1

2 学 期	<p>Lesson 6 Patterns in Human Behavior Goals of the Lesson Listening 心理学実験についての説明を聞き取るができる。 Reading 心理学実験の手順や結果について読み取ることができる。 Speaking (Interaction) 人間の行動に関する話題について話し合うことができる。 Speaking (Presentation) 人間の行動をコントロールする方法について発表することができる。 Writing 人間の行動をコントロールする方法について発表用の原稿を書くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>【言語材料】 It+be動詞+形容詞+that節, S+V+V [be動詞以外+C], S+V+O+C [形容詞] 【言語の働き】 質問する, 説明する, 発表する, 提案する</p>	<p>【知識・技能】 【知識】 It+be動詞+形容詞+that節, S+V [be動詞以外+C], S+V+O+C [形容詞] を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 人間行動に関する心理学実践の手順や結果について, It+be動詞+形容詞+that節, S+V [be動詞以外+C], S+V+O+C [形容詞] などの理解を元に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, 人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について, 基本的な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えようとしたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>Lesson 7 No Plastic or No Future Goals of the Lesson Listening プラスチックごみで命を落とす生物についてのニュースを聞き取ることができる。 Reading プラスチックごみによる海洋汚染について読み取ることができる。 Speaking (Interaction) プラスチックごみに関する話題について話し合うことができる。 Speaking (Presentation) プラスチックごみを減らす対策について, 視覚資料を利用して発表することができる。 Writing プラスチックごみを減らす対策を紹介する新聞記事を書くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>【言語材料】 関係副詞where, 関係副詞when, 関係代名詞what 【言語の働き】 質問する, 理由を述べる, 描写する, 説明する, 発表する, 報告する</p>	<p>【知識・技能】 【知識】 関係副詞where, 関係副詞when, 関係代名詞whatを用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 プラスチックごみによる海洋汚染について, 動詞の関係副詞where, 関係副詞when, 関係代名詞whatなどの理解を基に, 必要な情報や話し手・書き手の意図, 概要や要点を目的に応じて捉えたり, プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について, 基本的な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 プラスチックごみによる海洋汚染について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 プラスチックごみによる海洋汚染について, 必要な情報, 話し手・書き手の意図, 概要や要点を捉えようとしたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
2 学 期 期 末 考 査	<ul style="list-style-type: none"> Lessonごとの表現活動の記録 (およびワークシート) 授業用ワークシート 準拠教材『WORKBOOK』 準拠教材『スタディノート』 		○	○	○	1	

<p>Lesson 8 Oh My Cod! Goals of the Lesson Listening 食料資源についての会話を聞き取ることができる。 Reading フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について読み取ることができる。 Speaking (Interaction) 食べ物について話し合うことができる。 Speaking (Presentation) マグロ漁獲量に関するグラフを読み取り、マグロの現状について発表することができる。 Writing マグロ漁獲量の現状について発表用の原稿を書くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>【言語材料】 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形 【言語の働き】 質問する、説明する、報告する、発表する</p>	<p>【知識・技能】 【知識】現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 食料資源、フィッシュ・アンド・チップスの起源や歴史について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、食べ物やマグロ漁獲量の現状について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>Lesson 9 Is E-sports a real Sport? Goals of the Lesson Listening eスポーツについての会話を聞き取ることができる。 Reading eスポーツの現状、利点や欠点などについて読み取ることができる。 Speaking (Interaction) eスポーツについて話し合うことができる。 Speaking (Presentation) eスポーツの利点を示しながら意見の異なる相手を説得するための発表をすることができる。 Writing eスポーツの利点についての発表用の原稿を書くことができる。</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>3 学 期</p> <p>学年末考査</p>	<p>【言語材料】 S+V [知覚] +0+ [現在分詞、原形不定詞]、S+V [使役] +0+C [原形不定詞]、S+V+0₁+0₂ [if などの節] 【言語の働き】 質問する、理由を述べる、意見を言う、説得する、発表する</p> <p>・Lessonごとの表現活動の記録 (およびワークシート) ・授業用ワークシート ・準拠教材『WORKBOOK』 ・準拠教材『スタディノート』</p>	<p>【知識・技能】 【知識】S+V [知覚] +0+C [現在分詞、原形不定詞]、S+V [使役] +0+C [原形不定詞]、S+V+0₁+0₂ [if などの節]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】eスポーツの現状、利点や欠点について、S+V [知覚] +0+C [現在分詞、原形不定詞]、S+V [使役] +0+C [原形不定詞]、S+V+0₁+0₂ [if などの節]などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に応じて捉えたり、eスポーツやeスポーツの利点について、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや意見を論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 eスポーツの現状、利点や欠点について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、eスポーツやeスポーツの利点について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 eスポーツの現状、利点や欠点について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、eスポーツやeスポーツの利点について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8
			○	○	○	1
						合計
						77

高等学校令和4年度（1学年用）教科 情報 科目 情報 I

教科：情報 科目：情報 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者：
 使用教科書：（情報 I Next（数研出版））

教科 情報 の目標： 情報に関する科学的な見方・考え方、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための能力を培う。

【知識及び技能】コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。

【学びに向かう力、人間性等】情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人の関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1編 情報社会の問題解決 第1章 情報とメディア ・情報とは何か、情報の信ぴょう性とは何かを理解させ、クロスチェックの重要性を具体的に理解させる。 ・情報によって適したメディアが異なり、メディアの変換が可能で、失われる情報とつけ加わる情報があることを理解させる。 ・問題解決のプロセス（PDCAサイクル）を具体例をもとに理解させるとともに、情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けさせる。	01 情報の特徴 02 情報の表現形式 03 問題解決 (1) 04 問題解決 (2) ・CALL室の端末と一人1台端末の活用をする。 ・副教材を活用する。	【知識・技能】 「情報」がもつ意味やはたらきについて理解している。また、一次情報・二次情報といった情報の種類について理解している。 【思考・判断・表現】 「情報」がもつ意味やはたらきについて考え、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「情報」がもつ意味やはたらきについて考えようとしている。	○	○	○	6
第2章 情報社会における法とセキュリティ ・情報に関する法規や制度について理解させるとともに、それらの必要性について考えさせる。 ・個人情報保護の重要性や活用、肖像権・プライバシー権について理解させる。 ・著作権と産業財産権の保護の必要性を十分に理解させ、著作権法がどのようなものか具体的に理解させる。 ・ユーザ認証、アクセス制御など、情報セキュリティを高める技術やその重要性について理解させる。 ・情報セキュリティを脅かす事例やコンピュータウイルス及びその対策の具体例を理解させる。	05 情報社会 06 個人情報 07 知的財産権 08 著作権 09 情報セキュリティ 10 情報セキュリティ対策 (1) - セキュリティ対策の技術 - 11 情報セキュリティ対策 (2) - 技術的な対策 - 12 情報セキュリティ対策 (3) - 対策への意識 -	【知識・技能】 情報社会を支える法律について理解している。また、情報セキュリティの性質について理解している。 【思考・判断・表現】 法を遵守した判断や情報モラルに配慮した適切な判断ができる。また、セキュリティを脅かす問題に対する適切な対策について考え、判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会を支える法律・制度について意欲的に学ぼうとしている。また、情報セキュリティを守るために情報技術を適切に活用しようとしている。	○	○	○	12
第3章 情報技術が社会に及ぼす影響 ・人工知能やデジタルトランスフォーメーションなど、発展する情報技術と情報技術がもたらす社会や生活の変化について理解させる。 ・インターネット上のさまざまなトラブルを学び、情報技術の適切な活用について理解させる。 ・情報技術を効果的に活用し、社会をよりよくしていく方法について定期考査	13 情報技術の発展 (1) 14 情報技術の発展 (2) 15 情報技術の適切な活用 (1) 16 情報技術の適切な活用 (2)	【知識・技能】 人工知能やクラウドコンピューティングなど、発展がめざましい情報技術について理解している。 【思考・判断・表現】 情報技術の発展がもたらす社会や生活の変化や影響についてよい面と悪い面の両面から考え、判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術の発展とインターネット上のトラブルについて主体的に対応しようとしている。	○	○	○	5
			○	○		1

2 学 期	第2編 コミュニケーションと情報デザイン 第1章 情報のデジタル表現 ・アナログとデジタルの違い、デジタル情報の特徴やメリットを理解させる。 ・ビットの概念を理解させ、それを表現するための2進法や16進法、さらに2進法を用いた数のデジタル表現、文字のデジタル表現を理解させる。 ・音、画像、動画のデジタル化の原理を理解させる。 ・デジタル情報ならではのデータ圧縮の原理と具体例について理解させる。	17 デジタル情報の特徴 18 デジタル情報の表し方 (1) - 数値 - 19 デジタル情報の表し方 (2) - 単位・文字 - 20 デジタル表現 (1) - 音・画像 - 21 デジタル表現 (2) - 解像度・色の表現 - 22 デジタル表現 (3) - CG・動画 - 23 データの圧縮	【知識・技能】 アナログ情報とデジタル情報のちがいや、デジタル情報の特徴について理解している。また、情報の量の単位、2進法・10進法・16進法の変換のしかたについて理解し、実際に変換を行うことができる。 【思考・判断・表現】 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて考え、適切に判断している。2進法・10進法・16進法の数の変換の方法について考え、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル情報の表し方について理解し、活用しようとしている。	○	○	○	8
	第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴 ・古代からの技術的な進歩を概観し、コミュニケーション手段の発展について理解させる。 ・情報を発信するときのメディアの性質と特徴を理解させ、目的や状況に応じて適切なメディアの選択ができる力を身に付けさせる。	24 コミュニケーション手段の発達 25 情報の発信とメディアの性	【知識・技能】 情報通信技術の進展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解している。また、情報伝達のメディアの性質を理解している。 【思考・判断・表現】 情報発信の目的や受け手に応じて情報伝達のメディアを適切に選択している。 【主体的に学習に取り組む態度】 コミュニケーションの手段として通信が発達してきた歴史を知ろうとしている。	○	○	○	4
	第3章 情報デザイン ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解させるとともに、情報を抽象化・構造化・可視化する方法や表現を工夫する技能を身に付けさせる。 ・ユーザビリティやアクセシビリティ、ユニバーサルデザイン等について、身近な具体例を挙げながら理解させる。	26 情報を表現する方法 27 効果的な情報デザイン	【知識・技能】 伝えたい情報をわかりやすく表現するために必要な知識を身につけ、実際に表現することができる。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションの目的や受け手の状況に応じて、情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータを活用して情報を受け手にわかりやすく表現しようとしている。また、やユニバーサルデザインが社会の中ではたしている役割を知ろうとしている。	○	○	○	6
	第4章 プレゼンテーション ・プレゼンテーションの流れと注意点を理解させるとともに、効果的なコミュニケーションのために情報デザインの考え方や方法を理解させる。 ・プレゼンテーションソフトウェアの使い方や表現する技能を身に付けさせるとともに、その制作物を評価し改善する活動を行わせる。	28 プレゼンテーションの流れ 29 プレゼンテーションの注意点	【知識・技能】 プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションとなるよう考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーションの方法を身につけようとし、他者の発表を自身に生かそうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

東京都立高等学校 令和4年度（1学年用）教科 総合的な探究の時間 科目 人間と社会

教科： 総合的な探究の時間 科目： 人間と社会 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書：（人間と社会 東京都教育委員会）

教科 総合的な探究の時間 の目標： 選択・行動に関する資質・能力を育成する学習、体験活動による学習を通してよりよい生き方の主体的な選択を育成することを目指す。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 人間と社会 の目標： 選択・行動に関する資質・能力を育成する学習、体験活動による学習を通してよりよい生き方の主体的な選択を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等 他者と協働する技能等 必要な情報の収集・整理・分析等 	<ul style="list-style-type: none"> 一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等 自他の考え方や調べた知識等を他者に 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢等 問いや課題を見付け、学習に主体的に取り組む姿勢等

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	記 時 数
学	A 単元 序章 人間と社会 学習の視点 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新たな課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を基に議論したいする表現力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・単元の基本的な内容に関して学ぶ ・ケーススタディ～あなたならどうする？ワークシートの記入 ・学習の進め方の説明 ・自立支援プログラムによるSDGsについての講義と議論	【知識・技能】様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等。 【思考・判断・表現】一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。 【主体的に学習に取り組む態度】他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等。	○	○	○	5
	探究とSDGsを社会から学ぶ	ディレクトフォース	・都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業	○	○	○	1
学	B 単元 第1章 人間関係を築く 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新たな課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を基に議論したいする表現力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	・単元の基本的な内容に関して学ぶ ・ケーススタディ～あなたならどうする？OPPワークシートの記入 ・グループワークにより意見を出し合い、新たな問い・疑問や不思議を言葉にしてみる	【知識・技能】様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等。 【思考・判断・表現】一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。 【主体的に学習に取り組む態度】他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等。	○	○	○	8
	プレゼンテーション・ワークショップ	16歳の仕事塾	・都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業	○	○	○	1
学	C 単元 第2章 学ぶことの意義 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新たな課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を基に議論したいする表現力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組む	・単元の基本的な内容に関して学ぶ ・ケーススタディ～あなたならどうする？OPPワークシートの記入 ・グループワークにより意見を出し合い、新たな問い・疑問や不思議を言葉にしてみる	【知識・技能】様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等。 【思考・判断・表現】一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。 【主体的に学習に取り組む態度】他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等。	○	○	○	7
	プレゼンテーション・ワークショップ	16歳の仕事塾	・都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業	○	○	○	1
学	D 単元 第3章 働くことの意義 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新たな課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を基に議論したいする表現力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組む	・単元の基本的な内容に関して学ぶ ・ケーススタディ～あなたならどうする？OPPワークシートの記入 ・グループワークにより意見を出し合い、新たな問い・疑問や不思議を言葉にしてみる	【知識・技能】様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等。 【思考・判断・表現】一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。 【主体的に学習に取り組む態度】他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等。	○	○	○	7
	プレゼンテーション・ワークショップ	16歳の仕事塾	・都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業	○	○	○	1
2 学 期	E 特別活動12時間のための事前準備 玉川大学との高大連携によるプログラム 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新たな課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を基に議論したいする表現力を身に付ける。	・1学年によるユネスコスクールキャンディデート校としての取り組みについて ・特別活動に向けた準備 ・玉川大学教授と学生と協働した事前準備	【知識・技能】様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等。 【思考・判断・表現】一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。 【主体的に学習に取り組む態度】他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等。	○	○	○	7
	F 特別活動12時間 玉川大学との高大連携によるプログラム 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新たな課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を基に議論したいする表現力を身に付ける。	・玉川大学学生との意見交換 ・玉川大学教授と学生とともに、グループワークにより決められた議題について討論する ・特別活動のまとめとお礼状	【知識・技能】様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等。 【思考・判断・表現】一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。 【主体的に学習に取り組む態度】他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等。	○	○	○	6
3 学 期	G 単元 第19章 主権者・成年としての権利と責任 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新たな課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を基に議論したいする表現力を身に付ける。	・単元の基本的な内容に関して学ぶ ・主権者教育の講義受講前の準備 ・町田選挙管理委員会による主権者教育の講義	【知識・技能】様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等。 【思考・判断・表現】一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。 【主体的に学習に取り組む態度】他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等。	○	○	○	3
	H 人間と社会～これからの生き方～ 玉川大学との高大連携によるプログラム 【知識及び技能】予測できない社会の変化や新たな課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	・単元の基本的な内容に関して学ぶ ・次のステップへ進もう～探究に向けて～探究によって生み出された新たな問い、	【知識・技能】様々な価値や考え方があって多様な理解や他者と共同することの意義の理解等。 【思考・判断・表現】一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。	○	○	○	3

<p>知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自己と社会との関りから課題を見だし、情</p>	<p>・ハローポイント等を用いた 探究のプロセスから生み出さ れた問いの発表</p>	<p>の内面の変化から自己の行動の変化等。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組</p>				<p>合計 48</p>
---	--	--	--	--	--	------------------